



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

一宮の市民活動支援のあけぼの

市民自らが立ち上がり運営協力

一宮市の市民活動支援センターは、現在尾張一宮駅前ビル(i-ビル)3階にあります。これはききょう会館1階にあったものが平成24年に移転し、運営についてはNPO法人志民連いちのみやが一宮市から受託して行っています。

市民活動支援に関する議論が始まったのは、平成14年頃のことであり、市民活動支援センターが正式に設置されたのは、平成16年7月です。場所は、思いやり会館の3階にある細長い部屋でしたが、翌年にはききょう会館1階に移転しました。運営は、市と委託契約を結んで、一宮市ボランティアグループリーダーの会(VGL)が行いました。

運営には20数名のボランティアが集まり、午前と午後で担当を交代しました。毎週金曜日に会議を実施し、運営が維持されました。ききょう会館に移転してすぐの頃、当時の市長や企画部長が見に来られたことを思い出します。そして、この形態は8年間続きました。この経験を基に新しい市民活動支援センターが作られ、現在に至っています。

VGLは、平成16年から8年間市民活動支援センターの運営協力をしながら、多くの市民団体で活動をしている方々を見つめ、見守ってきました。手助けできることはないだろうかと思い、手を差し伸べてきました。個人や市民活動団体の登録を推進し、情報の収集や提供を主に図りました。そして、平成24年までに、28名の個人と411の団体が登録しました。(日置)



ボランティアスタッフ一同
金曜日の会議にて (2005年4月撮影)

「尾西手話サークルにこここ会」を紹介します

こここ会は、耳の聞こえない人たちと交流を深める中で、手話を学びながらお互いの理解を深め、福祉の向上を目指して活動しているサークルです。

さらにこのサークルは手話の活動だけでなく、イベントを企画したり、聴覚障害者団体のイベントなどにも参加したりして、様々な人たちとの交流を積極的に行っています。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で盛大なイベントができませんでしたが、野外での芋掘りや広い部屋でコロナウイルス感染防止対策をしながらのクリスマス会を開催されたそうです。これからもコロナウイルス対策をしっかりと行いながら、様々な楽しいイベントを企画していくそうです。

手話は楽しいですよ。日本語と同じように、聞こえない人たちのことばですからね!!興味を持たれた方は気楽に見学してくださいね。

*尾西手話サークルにこここ会は、2年後には結成40周年を迎えられるそうです。コロナも終息して、会のみなさまが安心して活動できるといいですね!(岩下)

尾西手話サークルにこここ会例会は次のとおりです。

昼の部	毎週木曜日	午前10時～12時	(尾西庁舎4階ボランティア室)
夜の部	毎週金曜日	午後7時～8時50分	(尾西庁舎5階)

